

宝塚大学 東京メディア芸術学部

NEWS LETTER

Vol.110 | 2022.4 | TAKE FREE



Futured person in TAKARAZUKA 北見隆ゼミ 大澤菜月 & 渡邊哲意教授
づからいふ 第1話 青田せんせい登場! / HOT TOPICS

Oosawa Natsuki 大澤菜月

神奈川県出身
2001年生まれ
星槎国際高等学校北斗校卒業
北見隆ゼミ 3年生



オープンキャンパスで感じた 楽しい学生生活への予感

高校時代、興味があった大学のオープンキャンパスにいくつも参加しました。その中で一番面白かったのが宝塚大学のオープンキャンパスでした。展示してある作品や、そこで会話を交わさせてもらった先輩の方々も、明るく、楽しい人が多く、自分も楽しく学生生活を送れそうだと感じ、入学したい気持ちが高まりました。先生方が私たち高校生にも気さくに話してくださいましたのも印象に残っています。自分の興味があることを学べるのはもちろん、その先の就職に向けたサポートも充実していて、自分の就職への意識もしっかりと高められると感じたので、宝塚大学への進学を決めました。



描くたびに感じる、 油絵の表現の豊かさ、素晴らしさ

今は、以前からずっとあこがれていた油絵を描くことに取り組んでいます。色の重ね方や発色など、これまで取り組んできたどの画材とも違う魅力があり、描くたびにわかってくることが新鮮で、どんどん油絵の世界に引き込まれています。今は主に自画像をテーマに描いていますが、これからは、様々なモチーフに取り組んで技量を磨き、

自分らしい魅力を持った絵が描けるようになりたいと思っています。

大学で学ぶことで、 作品がよりリアルに

高校時代は、自分のあこがれや感性だけを頼りに作品を描くことが多かったのですが、大学に入ってからは、人体の骨格や筋肉など、絵をより美しく書くための基礎知識を身につけることができました。このことにより、作品に取り組む姿勢が変わったと思います。これが入学して一番充実したことだと思います。描くものがよりリアルになり、私の作品を昔からずっと間近で見続けてくれている家族も絵の変化に驚いています。その他にも、将来職業として進みたい分野で必要となるであろう知識が、授業を受けるたびにどんどん自分の中に蓄積されていることが実感でき、その点でも充実していると感じています。

見据えているのは 「絵」にかかる将来

まだ、どんな分野の絵であるとか、職業などについては、はっきりと決めてはいませんが、宝塚大学で経験し、学んだことを活かして、イラストや3Dなどの分野も含めてどのような形であっても絵にかかる仕事を就きたいと考えています。



宝塚大学公式 YouTube チャンネル
大澤菜月さんのインタビューはこちから



Watanabe Tetsui 渡邊哲意教授

宝塚造形芸術大学(現:宝塚大学)大学院
メディア・造形研究科博士課程修了。
博士(芸術学)。アイデアをデザインとして
成立させるための考え方と表現力を磨く
ための「コンテンツデザイン」を教える。



先輩と先生に注目して宝塚大学を知ろう!

Featured person in TAKARAZUKA

My Favorite

造形表現Ⅰ

担当教員：高田美苗講師



新たな技法を学ぶことは、
難しいと同時に楽しいと感じます

「造形表現Ⅰ」では、混合技法という、油絵具とアクリル絵具の両方を使用して描く技法を学んだり、自画像を描くことで顔を描くときの陰影の付け方への理解をさらに深めるなど、新たな技術を身につけることができました。

絵具を扱うのが初めてだったので、慣れるまでは注意すべきことが多く、難しく感じました。しかし、何度も描いていくうちに、絵具を重ねていく過程がとても楽しく感じるようになりました。色を重ねていけばいくほど立体的な陰影が作れて、絵に厚みが出てくるんです。そういう作品を時間をかけて描いていく作業はとても面白く、楽しい経験です。

work

光のアートで校舎を包もう プロジェクト



新型コロナに負けず、イベントを
作り上げる喜びを経験してほしい

新型コロナ禍により、大学生だけでなく高校生も学びの機会が失われてしまいました。彼らのために何かできることはないかと考え、これまで学生たちと取り組んできた「プロジェクトアート」を核にした企画を考え、様々な高校に提案。実現してきました。

ただのイベントではなく、大学生はもちろん、高校生にとっても教育効果がある取り組みにすることを重視したことで、継続的に開催する価値のあるイベントになりました。学生には、自分たちが創造したアートを社会に伝え、市民の皆さんに浸透させていくという「プロデュース力」を養う場としてほしいと思います。

リモートでは伝わらないこと 学べないこと

2020年3月、新型コロナの感染拡大に伴い、4月から始まる新年度から授業をリモートで行うことになりました。リモート授業に対応できる通信環境やPC、タブレットなどの環境をすべての学生に提供し、標準的な授業のスタイルを決め、教室を改造して授業の収録などを行えるスタジオを作るなど、急遽準備してリモート授業を開始しました。カリキュラムや時間割の設定を工夫して、何とか1年間で必要な単位をとれるよう工夫することで一年目は乗り切り、二年目はリモートで行える講義はリモートで、実技系の授業は対面で行う形で実行しました。

1年間コロナ対策をしながら教育を実施してきて感じているのは、学生たちのスキルが落ちているということです。例えば、写真や画像などの撮影技術では、実際にカメラを操作しながら対面で教える・教わるという学びの機会が失われたことの影響の大きさを感じました。また学園祭も2年連続で中止になり、先輩から後輩に代々引き継がれてきたイベント運営や音響・照明などの演出のノウハウも上級生から下級生に引き継がれる機会が失われ、その伝統が途絶えてしましました。

大学生にも、高校生にも 学びの機会を提供する

学びの機会を失うという点では、高校生も状況は同じでしょう。できる授業はリモートになり、高校生の一番の楽しみである文化祭や体育祭も中止になり、大学受験を目指して勉強をするだけの生活になっていたと思います。

このような状況で我々にできることはないかと考え提案したのが、プロジェクトアートのイベントです。室内で密になるのを避けるためにも、屋外で行うプロジェクトアートなら好適と考えました。そして、以前から高大連携の取り組みを実施していた高校に提案し、賛同してくれた首都圏

の高校を中心に実施していました。回を重ねるごとに準備・運営のノウハウが蓄積され、準備や運営を任せられる学生が増えてきました。

イベントを実施させてもらう中学・高校の生徒にも会場設営などの準備に参加してもらうことで、単に楽しむだけでなく、チームで一つのイベントを作り上げる体験を通じ、他者と協力することや自分の役割を果たすことの大切さを学ぶことができます。本学の学生も、何度もイベントを実施することでノウハウが蓄積されるだけでなく、自分たちの作品(プロジェクトアート)がどのような意義を持っているかを理解し、どのように社会に広げていくかを実地に学ぶ機会となります。それがイベントを実施する大きな意義だと考えています。

自分の「好き」を見つけること それを形にしていく力を学ぶこと

この企画は、これからも継続して実施していく予定です。宝塚大学東京メディア芸術学部は、ここに紹介したように、アートを生み出すスキルだけでなく、作り出した作品をどのような形で世の中に浸透させ、社会を変えていくことができるかを学ぶことができる環境があります。

アートを仕事にしたいと考えている皆さんの中には、どのような職業が見えているでしょうか。アニメーター、漫画家、イラストレーターなどをイメージしている方が多いのではないかでしょうか?しかし、例えばイラストを使って作品を作り出す仕事を考えてみると、メディアアートの世界にはイラストレーター以外にも本当にたくさんの仕事があります。一流のイラストレーターになるというのも素晴らしいことですが、イラストを使って、今までになかつた形で自分を表すというのも価値あることです。デジタル化の進展で様々なメディアが進化し、その境目が融合しています。これからは学んだスキルを活かして、新たな表現を生み出せる人がどんどん増えてくるでしょう。そんなメディアアートの世界で活躍するための力を、宝塚大学で身につけてください。

宝塚大学の日常をゆるっとお届け

づかうらいふ

第1話 青田せんせい登場！



作：青田めい（本学助教）

**宝塚大学
OPEN CAMPUS
2022**

詳しくは右下二次元コード
から大学公式サイトへ！

年間
スケジュール

8.21 [日]
10:00-16:00

3.27 [日]
10:00-13:00

6.5 [日]
10:00-13:00

7.31 [日]
10:00-16:00

8.20 [土]
10:00-16:00

9.17 [土]
10:00-12:00

10.2 [日]
10:00-13:00

11.6 [日]
10:00-13:00

12.4 [日]
10:00-13:00

HOT TOPICS

宝塚大学の最新ニュースをcheck!

●成女高等学校のイベントに協力●

渡邊ゼミの教員と学生が2022年2月23日（水・祝）に成女高等学校パフォーマンスフェスティバル（新宿区牛込篠崎区民ホール）で記録・映像制作を担当、3月10日（木）に高大連携企画「ミュージカル」を本学の多目的ホールで実施しました。渡邊哲意教授と伊丹谷良介講師と共に作り上げました。



●『「天使篇」北見隆 版画・立体作品展』開催！●

イラストレーターとしても活躍している北見隆教授による個展『「天使篇」北見隆版画・立体作品展』が、2022年2月28日（月）～3月11日（金）にギャラリー一枝香庵（東京都中央区銀座）にて開催されました。



●『西岡悠妃作品展 或る音楽家の記憶』開催！●

本学の西岡悠妃助教による個展『西岡悠妃作品展 或る音楽家の記憶』が、2022年2月24日（木）～3月9日（水）にナカジマアート（東京都中央区銀座）にて開催されました。絵画作品の中に数々の物語を紡いできた日本画家・西岡悠妃助教の2回目となる新作展で、新作18点を展示。今回の個展では、「或る音楽家」を主人公に、そこから描かれた様々な物語を開拓しました。



●宝塚大学オープンキャンパスでの取り組み●

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTube同時配信の導入や事前予約制・人数制限などを設けて実施しています。また、緊急事態宣言発令中は、来場型の開催を中止としてオンライン開催へと変更しました。オンライン開催では、チャットを利用した質問コーナーを設けて、オンライン配信ならではの取り組みを実施し、大学受験に対する疑問を気軽に質問出来る体制を整えています。

